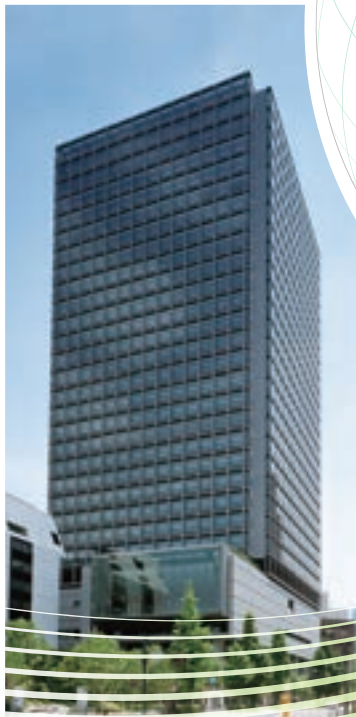




第125期中間 株主通信

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日



飯野海運株式会社

証券コード 9119

IINO LINES



代表取締役社長

関根 知之

目次

株主の皆様へ	1
ビジネスレポート	2
ニュース&トピックス	5
財務ハイライト	6
会社概要	9
株式情報	10

当中間期の事業環境について

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第125期中間株主通信（2015年4月1日から2015年9月30日まで）をお送りするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当中間期（第2四半期連結累計期間）の世界経済は、米国を中心とした先進国で景気拡大の動きが見られる一方で、中国等の新興国経済の減速が鮮明となり先行き不透明感が高まりました。わが国経済は、中国経済の減速が輸出・生産の下押し圧力となったものの、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善で個人消費が底堅く推移する等、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当中間期の取り組み・業績について

当社グループの海運業においては、ケミカルタンカー市況が好調なことに加え、円安が追い風となった一方、ドライバルクキャリアでは船腹の供給圧力が依然根強く市況は低迷、近海ガス輸送においても中国経済の成長鈍化により荷動きが減少傾向となり市況は低調と船種によって異なる市場動向となりました。そのような中、低迷している船種については支配船腹の縮小を図る等の対策を講じながら、既存契約の有利更改への取り組み、効率配船及び運航採算の向上を図りました。

不動産業においては、わが国経済の回復基調を受け、各企業における業容・人員拡大を背景としたオフィスの拡張・統合需要により都心のオフィスビル賃貸市況は緩やかな改善方向を見せました。そのような中、一部には空室があるものの、飯野ビルディングをはじめとした各ビルにおいて継続して良質なテナントサービスの提供に注力し、概ね順調に稼働しました。

以上の結果、売上高は493億28百万円、営業利益は39億93百万円、経常利益36億4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億84百万円となりました。

なお、当中間期の配当につきましては、安定配当を継続するという当社基本方針に基づき、1株当たり普通配当5円とさせていただき、期末配当金は5円、通年で10円を予定しております。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えできるよう精励いたしますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

外航海運業

売上高 385億74百万円
営業利益 18億70百万円



■ オイルタンカー

オイルタンカー市況は、原油安による中国の輸入増等により安定推移しましたが、夏場の不需要期に製油所の定期修繕時期と重なったことから一時的に大幅に下落し、その後冬場の需要期に向けて原油の輸送需要が再度強まったことで、急反発するなど流動性の高いものとなりました。

当社グループのオイルタンカーにおいて



KOHO I 301,045DWT
(オイルタンカー)

は支配船腹を中長期契約に継続投入し、安定収益を確保しました。

■ 大型ガスキャリア

LPGキャリア市況は、インド・中国等を中心とする堅調な需要の伸びや、米国からのLPG輸出増加等から、引き続き高水準にて推移しました。一方、LNGキャリア市況は、新造船の竣工に対する新規輸送需要の伸びが限定的で、スポット市況は低水準に留まりました。

当社グループの大型ガスキャリアにおいては、LPGキャリア及びLNGキャリア共に



SAKURA GAS 83,385 m³
(大型LPGキャリア)

存の中長期契約へ継続投入することで安定収益を確保しました。

■ ドライバルクキャリア

ドライバルクキャリア市況は、老齢船のスクラップは順調に進んだものの、中国経済の減速や高い新造船の供給圧力が続き、市況は依然として歴史的安値での推移が続きしました。

当社グループのドライバルクキャリアにおいては、石炭専用船や木材チップ専用船での中長期契約に加え、数量輸送契約により採算の改善を図りました。また、市況



MARTIN ISLAND 32,723DWT
(ドライバルクキャリア)

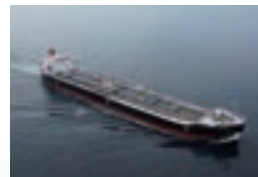
低迷を受け、支配船腹規模を縮小する等の対策を行いました。

■ ケミカルタンカー

ケミカルタンカー市況は、プロダクトタンカーの市況が夏場も堅調に推移しケミカルタンカー市場への流入が少なかったことや、石油化学製品の輸送需要も大きな落ち込みがなかったことから、運賃市況は総じて安定して推移しました。プロダクトタンカー市況においては、中国やアフリカのガソリン需要の増加が夏場の市況を押し上げて来ましたが、後半に入り需要が減少し市況も軟化に転じました。

当社グループのケミカルタンカーにおいては、基幹航路の中東配船では既存契約による輸送数量を順調に確保し、アジア及び欧州からインド・パキスタン向けにおいても配船計画に見合う輸送

数量を取り込むことができました。また、南米向け配船も継続して実施し、全体的な運航船腹の安定稼働を維持することができました。当社と米国オペレーターとの合併事業会社では大西洋域内を中心に、契約数量とスポット貨物も効率的に集荷し高稼働を維持することができました。プロダクトタンカーにおいては、支配船腹を中長期契約に継続投入し、安定収益を確保しました。



CHEMROAD QUEEN 35,847DWT
(ケミカルタンカー)

内航・ 近海海運業

売上高 48億21百万円
営業利益 2億 2百万円



■ 小型ガスキャリア

内航ガス輸送は、LPG・石油化学ガスの底堅い国内需要を背景に荷動きは夏場にかけても堅調に推移しました。当社グループの内航ガス輸送においては、LPGにおいて当社主力荷主の販売が好調となり、船腹の稼働は順調に推移しました。また、石油化学ガスでも専航船契約を中心に安定した収益を確保しました。

近海ガス輸送は、中国経済の成長鈍化に加え、中国向けの主な貨物であるプロピレンの中国国内生産が増加したこともあり、荷動きは減少傾向となりました。当社グループの近海ガス輸送においては、自主運航となった小型船1隻は市況の悪化の影響を受けましたが、支配船腹の大半を中長期契約に継続投入することにより、収益の低下を最小限に留めるべく努めました。



俊邦丸 1,829m³(小型LPGキャリア)

不動産業

売上高 59億74百万円
営業利益 19億21百万円



■ 不動産賃貸／不動産関連事業

都心のオフィスビル賃貸市況は、春先の大型物件稼働後は目立った新規供給のない中、各企業における業容・人員拡大を背景としたオフィスの拡張・統合需要により既存ビル含めた全体の空室率は低下し、賃料水準は緩やかな上昇傾向を見せました。当社グループの賃貸ビルにおいては、所有する一部のビルにおいて空室があったものの、良質なテナントサービスの提供に努め、順調に稼働しました。

貸ホール・貸会議室においては、多くの競合施設があり、厳しい顧客獲得競争が続く中、セミナー、講演会、映画試写会、その他催事の積極的な誘致により、稼働を維持することができました。

スタジオ関連事業は、雑誌販売の低迷から出版業界の利用需要は低迷し、使用料の単価も低調に推移しましたが、スタジオ、レタッチ、プロデュース、ロケーションの各部門で新規顧客獲得がある等、稼働は堅調に推移しました。



イイノダイニング(飯野ビルディング)

■ 運 航 船 腹

(2015年9月30日現在)

保有形態 船 種		社 船		用 船		合 計	
		隻 数	重量トン数	隻 数	重量トン数	隻 数	重量トン数
外航海運業	オイルタンカー	2	601,911	1	105,593	3	707,504
	ケミカルタンカー	14	439,487	28	901,880	42	1,341,367
	大型ガスカリヤ	14	965,438	3	132,598	17	1,098,036
	ドライバルクキャリア	7	577,168	15	571,622	22	1,148,790
内航・近海運業	小型ガスカリヤ	19	33,991	11	37,082	30	71,073
合 計		56	2,617,995	58	1,748,775	114	4,366,770

(注) 1. 社船には、グループ会社が所有する船腹を含みます。
2. 重量トン数は共有相手持分を含めて記載しております。

■ 賃 貸 ビ ル

(2015年9月30日現在)

名 称	所在地・延床面積 (㎡)
飯野ビルディング	東京都千代田区内幸町 103,826.88
汐留芝離宮ビルディング	東京都港区海岸 32,702.37
東京桜田ビル	東京都港区西新橋 17,762.63
東京富士見ビル	東京都千代田区富士見 10,674.86
飯野竹早ビル	東京都文京区小石川 4,736.37
笹塚センタービル	東京都渋谷区笹塚 11,973.11
合計	181,676.22

* 汐留芝離宮ビルディング、東京桜田ビル及び東京富士見ビルは他者と共有しており、延床面積には他者持分も含めて記載しております。

■ 主なグループ会社

(2015年9月30日現在)

外航海運業	船舶の運航及び貸渡	Chemroad Echo Navigation S.A.
	船舶管理	イイノマリンサービス(株)
	海運仲立業及び船舶用品売買	イイノエンタープライズ(株)
内航・近海運業	運航・貸渡及び船舶管理	イイノガストランスポート(株)
不動産業	ビル管理	イイノ・ビルテック(株)
	倉庫業	泰邦マリン(株)
	フォトスタジオ	(株)イイノ・メディアプロ

トピックス 1

“Shell Chemicals Carrier of the Year Award 2014 for Asia, Pacific and Middle East region” 受賞

当社グループは、このたび Shell Chemicals社より“Shell Chemicals Carrier of the Year Award 2014 for Asia, Pacific and Middle East region”を受賞いたしました。

同社は、毎年地域ごとに、安全、危機管理、環境保全、運航技術、顧客志向性などのパフォーマンスが最も高かった会社を選定し表彰しており、当社グループは2011年以降3回連続の受賞となります。

10月9日、シンガポールで行われた授賞式には、当社取締役執行役員兼現地法人IINO SINGAPORE PTE.LTD.マネージング・ダイレクターの小藺江隆一が出席いたしました。

当社グループでは今後とも高付加価値なサービスを提供すべく、安定輸送・安全運航に努めて参ります。



受賞式での記念写真

トピックス 2

ケミカルタンカー「CHEMROAD QUEEN」竣工

新来島どっく(株)にて建造していた35,847重量トンケミカルタンカー「CHEMROAD QUEEN」が本年9月8日に竣工しました。ケミカルタンカー事業は、当社グループの中期経営計画「STEP FORWARD 2020」において、重点戦略事業のひとつと位置付けられており、競争力のある船隊整備とあわせ、シェールガス革命に起因する物流変化への対応を目的とした米国配船の開拓を行っております。本船は計画策定後、最初に竣工するケミカルタンカーとなります。

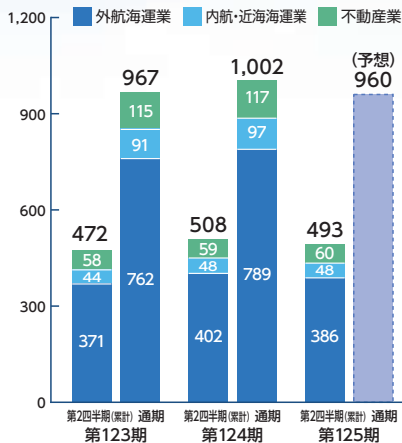
引き続き当社グループでは、主力のケミカルタンカー事業の優位性を確立すべく、安定輸送・安全輸送を念頭にお客様のニーズに対応した良質なサービスの提供に取り組んで参ります。



CHEMROAD QUEEN (35,847DWT)

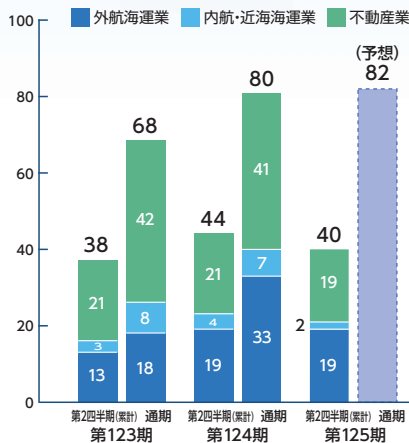
売上高

(単位:億円)



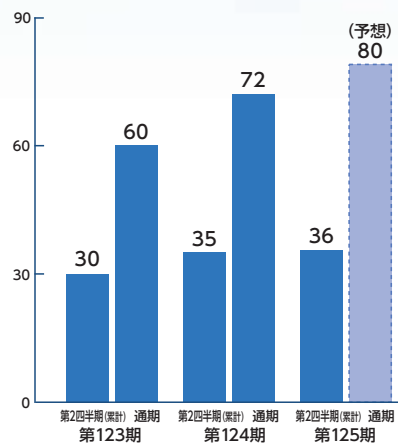
営業利益

(単位:億円)



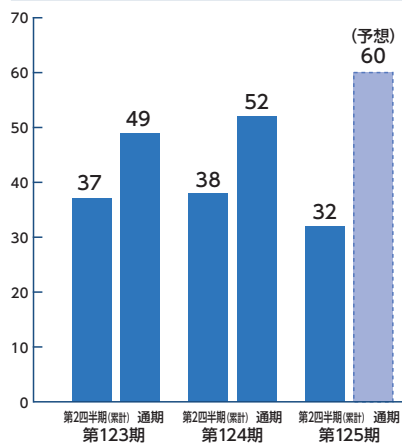
経常利益

(単位:億円)



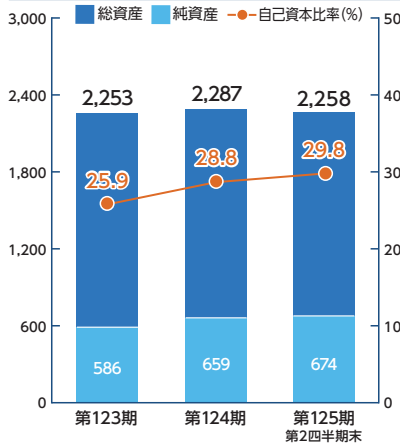
純利益

(単位:億円)



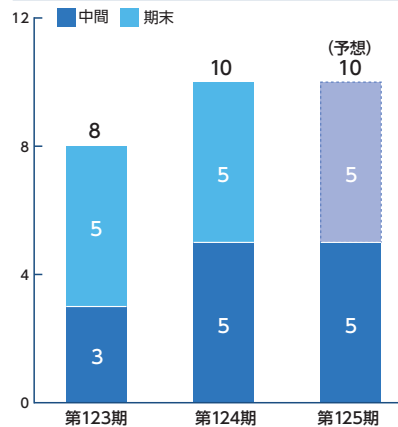
総資産・純資産・自己資本比率

(単位:億円)



配当金

(単位:円)



※表示金額未満を四捨五入しております。

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目	前連結会計年度末 (2015年3月31日現在)	当第2四半期連結 会計期間末 (2015年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	31,455	30,977
固定資産	197,238	194,782
有形固定資産	174,779	174,345
無形固定資産	560	538
投資その他の資産	21,899	19,899
① 資産合計	228,693	225,759
負債の部		
流動負債	36,416	34,041
固定負債	126,369	124,334
① 負債合計	162,785	158,376
純資産の部		
株主資本	58,767	61,396
資本金	13,092	13,092
資本剰余金	7,613	7,613
利益剰余金	38,111	40,740
自己株式	△49	△49
その他の包括利益累計額	7,118	5,971
その他有価証券評価差額金	3,584	2,966
繰延ヘッジ損益	2,581	2,027
為替換算調整勘定	954	978
非支配株主持分	22	17
純資産合計	65,907	67,384
負債純資産合計	228,693	225,759

Point① 資産・負債

資産合計は、現金及び預金の減少などにより、前期末比29億34百万円減少の2,257億59百万円となりました。負債合計は借入金の減少などにより、前期末比44億10百万円減少の1,583億76百万円となりました。

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
売上高	50,822	49,328
売上原価	43,253	42,010
売上総利益	7,568	7,318
販売費及び一般管理費	3,174	3,326
② 営業利益	4,395	3,993
営業外収益	447	974
営業外費用	1,314	1,362
③ 経常利益	3,527	3,604
特別利益	1,656	533
特別損失	1,216	889
税金等調整前四半期純利益	3,968	3,248
法人税等	197	55
四半期純利益	3,771	3,193
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,778	3,184

Point② 営業利益

飯野ビルディングの順調稼働やケミカルタンカー市況の好調に加え、円安が追い風となった一方、ドライバルクキャリアでは市況低迷の影響を受けたことなどにより、営業利益は39億93百万円(前年同期比4億2百万円の減益)となりました。

Point③ 経常利益

営業利益が減益となったものの、持分法投資損益が増益となったことなどにより、経常利益は36億4百万円(前年同期比77百万円の増益)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月 1 日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月 1 日 至 2015年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	8,712	7,432
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,805	△3,277
財務活動による キャッシュ・フロー	△7,216	△5,336
現金及び現金同等物に 係る換算差額	95	2
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△1,214	△1,179
現金及び現金同等物の 期首残高	16,906	11,965
現金及び現金同等物の 四半期末残高	15,692	10,787

キャッシュ・フロー分析

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、主に税金等調整前四半期純利益と減価償却費により74億32百万円のプラスとなりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主に船舶及び不動産への設備投資を中心とした固定資産の取得による支出が、船舶を中心とした固定資産の売却による収入を上回ったことにより32億77百万円のマイナスとなりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、主に長期借入金の返済による支出が、長期借入金による収入を上回ったことにより53億36百万円のマイナスとなりました。

■ 詳細につきましては当社ホームページよりご覧いただけます。

<http://www.iino.co.jp/kaiun/ir/brief.html>

飯野海運



(単位：億円)

科 目	第123期		第124期		第125期	
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期(予想)
売上高	472	967	508	1,002	493	960
海運業	415	853	450	886	434	—
外航海運業	371	762	402	789	386	—
内航・近海海運業	44	91	48	97	48	—
不動産業	58	115	59	117	60	—
営業利益	38	68	44	80	40	82
海運業	17	26	23	39	21	—
外航海運業	13	18	19	33	19	—
内航・近海海運業	3	8	4	7	2	—
不動産業	21	42	21	41	19	—

※表示金額未満を四捨五入しております。

会社概要

商 号	飯野海運株式会社 IINO KAIUN KAISHA, LTD. (略称：IINO LINES)		
創 業	1899（明治32）年7月		
資 本 金	13,091,775,488円		
主要事業内容	海運業、不動産業		
本 社	〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号 飯野ビルディング		
事 業 所	海外 海外現地法人	ドバイ、大連 シンガポール、ロンドン、 コネチカット、ヒューストン	
グループ会社	連結対象子会社	56社	
	持分法適用関連会社	4社	
	連結対象外関係会社	11社	
	合計	71社	
上 場 取 引 所	東京（第一部）、福岡		

取締役及び監査役並びに執行役員

役 職	氏 名	担当及び他の法人等の代表状況等
代表取締役社長 社長執行役員	関根 知之	
代表取締役 専務執行役員	中上 良彦	総務・企画部管掌、経理部管掌 及び人事部担当
取締役 専務執行役員	近光 護	油槽船・ガス船部担当 及び専用船・不定期船舶担当
専務執行役員	安齋容一郎	IINO LINES(U.S.A.)INC. 取締役社長
取締役 常務執行役員	大橋 恵明	経理部担当及び イイノマネジメントデータ(株)取締役社長
取締役 常務執行役員	當舍 裕己	総務・企画部担当
取締役 常務執行役員	大島 久弘	船員部担当、海務安全部担当及び イイノマリンサービス(株)取締役社長
執行役員	三宅 茂樹	イイノガストランスポート(株) 取締役社長
取締役 執行役員	岡田 明彦	不動産事業部担当
取締役 執行役員	小藺江隆一	ケミカル船第一部担当、 ケミカル船第二部担当及び IINO SINGAPORE PTE.LTD. 取締役社長
執行役員	古澤 宏	総務・企画部長委嘱
執行役員	荒木 俊雄	船員部担当補佐、 海務安全部担当補佐及び イイノマリンサービス(株)常務取締役
執行役員	長谷川陽一	油槽船・ガス船部長委嘱
取締役	遠藤 茂	(非常勤、社外取締役)
取締役	大江 啓	(非常勤、社外取締役)
監査役	大野 伸二	(常勤)
監査役	星野 憲一	(常勤)
監査役	鈴木 進一	(非常勤、社外監査役)
監査役	佐久間信夫	(非常勤、社外監査役)

(注) 当社は、上場している各証券取引所に対して、取締役 遠藤茂、取締役 大江啓 及び
監査役 鈴木進一の各氏を独立役員として届出ております。

株式の状況

発行可能株式総数	440,000,000株
発行済株式の総数	111,075,980株
株主数	8,566名

大株主 (上位10名)

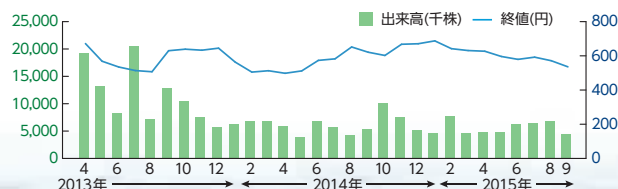
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
川崎汽船株式会社	5,940	5.35
東京海上日動火災保険株式会社	5,264	4.74
株式会社みずほ銀行	4,941	4.45
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	4,154	3.74
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン スペシャル アカウント ナンバー ワン	4,000	3.60
飯野海運取引先持株会	3,992	3.59
三井住友信託銀行株式会社	3,622	3.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,607	3.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,605	3.24
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT-TREATY RATE	2,500	2.25

(注) 持株比率からは、自己株式 (105,770株) を除く。

所有者別株式分布状況



株価及び出来高の推移



インフォメーション

■ 「特別口座」で株式をお持ちの株主様へ

株券電子化前に証券保管振替機構 (ほふり) へ預託されなかった株主様には、当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行に「特別口座」を開設しております。特別口座は、株主様の権利を保全するための暫定的な口座であり、この特別口座に記録された株式は、証券会社の取引口座に振り替えなければ売買できませんので、お早めに証券会社の取引口座への振替をお願いいたします。

特別口座からの振替のお手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行又はお取引の証券会社へお問い合わせください。

■ 詳細につきましては当社ホームページよりご覧いただけます。

<http://www.iino.co.jp/kaiun>

飯野海運



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催いたします。
定時株主総会の基準日	3月31日 なお、上記のほか必要があるときは、 予め公告いたします。
配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日（中間配当実施の場合）
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
事務取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載して行うこととします。 当社の公告はホームページに掲載しております。 http://www.iino.co.jp/kaiun
飯野海運株式会社	〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号 飯野ビルディング 電話 (03)6273-3069



環境保全のため植物油インキを
使用して印刷しています。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



IINO LINES

<http://www.iino.co.jp/kaiun>